
鈴

夏梅

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

鈴

【Nコード】

N6509P

【作者名】

夏梅

【あらすじ】

友人に聞いた鈴の話。その時、私は笑って聞いていたのだが・・・。

友人の目にクマができていた。私が気になって尋ねてみると、友人は青い顔のまま、「実は・・・」とある話をし始めた。

この地域では、昔から鈴の音が聞こえた晩には、家中を締め切ってお守りの札を窓や扉に貼ってから、寝ないといけないという。

何十年前も前、ある家で鈴の音が聞こえたので、家中を締め切って札を貼ってから寝た。だが、その家にいた少年が好奇心から札を剥がしてしまったのだ。朝になり、少年は遺体で見つかった。

それからというもの、その家では毎日鈴の音が絶えず聞こえるようになった。しかも、家族の誰かが外を見たとき、死んだはずの少年が鈴を鳴らしているのを見たというのだ。

その後、その家族は一家心中をしたのだった・・・。

私はこの地域には引越してきたばかりだったので、笑って話を聞いていた。その話とそのクマ、何か関係があるの、と聞いてみたが友人は青い顔をしてうつむくばかりだった。

その数日後、友人の死が知らされた。さらに数日後、友人の家族が全員発狂死したことも・・・。

今、私の家は完全に締め切られており、大量のお守りの札も貼られている。そして、私は布団にもぐりこんで目を硬く閉じ、耳を塞いでいる。なぜなら、友人が窓の外で鈴を鳴らしながら、薄ら笑いを浮かべて立っているからだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6509p/>

鈴

2011年1月12日21時57分発行